

左手手掌熱傷2度

受傷日 10月24日 電気ポットが転倒し上記受傷した。救急病院
受診し、ガーゼ軟膏処置を受ける。

翌日、名古屋市内の熱傷センター受診しFi・・・スプレー処置を指
示される。あいも変わらずガーゼ処置、しかも水疱は放置状態。
最低限水疱の除去は夏井先生のHP読者は、知っているはずの
だけれど、未だにできていない病院もあるようです

。10月25日ネットで当院を検索して来院しました。初日の処置には、前日までの処置の痛さを思い出すこと且つ、ガーゼをはがすことの痛みにぎんぎん泣いていました(写真1)。水疱をきれいに除去して撮影、一部2度の深い部分が見られます。



翌日も来院していただき、すこしづつ痛くないところから水疱を除去していきました。
自宅での処置も、お母さんが丁寧にできているようなので、その次は受傷後5日目に来ていただきました。



今までも、たくさんの熱傷の治療に当たらせていただきましたが、さすがに幼児の手
掌屈側であり、範囲も大きいのでちょっと不安を抱え夏井先生に写真を添付して御相
談しました。

夏井先生の解答

- 解答
- 手掌熱傷はむしろ楽勝です。この程度なら、あと1週間で上皮化します。機能障害も起こりません。しかし、この程度の熱傷を重症にするのが熱傷センター、大学病院形成外科、総合病院形成外科です。

創部の被覆は面積が広いので、プラスモイストTOPかラップ、あるいは次の方法がよいと思います。

<http://www.wound-treatment.jp/next/case/952-dressing.htm>

「手の熱傷は専門家へ」というのも過去の伝説ですね。

心強いお墨付を頂き、家族へも最初に見たHPの夏井先生と検討した結果、この処置で大丈夫というお墨付を頂いているよとお話して、ワセリンラップ療法を続けました。

受傷後9日目

まだ水疱の全ては除去出来てはいませんが、何よりも家族が処置をするときにも、医院で処置するときにも涙を見せませず、笑顔ですすんで洗面台にいきます。



受傷後12日目

そろそろ、熱傷専門医は皮膚移植のお話をする頃でしょうか？ゲーベンなど使用しているとおそろくどんどん深くなっていくので、これ以上に酷い状態になっていることでしょう。



この段階で、プールに通っているというお話を聞き、プールの前後にワセリンの処置を続けていけばプールも可能とお話しました。

受傷後24日

最近来ないから大丈夫かな、どこかで皮膚移植などされていないかと心配していましたが、本日見えました。とってもきれいに治っていました。お父さんお母さんお疲れ様でした。後は春まで長袖なので、日焼けの心配もないので大丈夫でしょう。



夏井先生ありがとうございました。